

2012-B					
拠出金・基金の名称:		規格及び通商開発機構拠出金			
種 別		①イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 規格及び通商開発機構(STDF)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
途上国がSPS協定に関する国際基準を実施することを助け、それを通じた途上国の人、動物及び植物の健康の状況改善、さらには市場アクセスの改善を図ることとしている。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	8,481	105	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	20,439	230	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	23,660	252	-	1米ドル = 94円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
STDFにおいては、他の国際機関で行われているSPS関連プロジェクトを網羅的に把握しており、プロジェクトが効率的に実施されている。プロジェクト申請審査に当たっては、必要性、有効性、今後の発展性の観点から客観的に審査が行われており、また、STDFの運営については外部専門家による評価が行われるなど、透明性が高いプロセスが取られている。また、我が国としては、STDFドナー国会合に積極的に参加することで、我が国の主張が運営方針に反映されるよう努めている。例えば、SPS案件に効果的に資金を投入するための評価分析手法については、従来パイロットプロジェクトの多くはアフリカで実施されていたが、我が国の意見を踏まえ、ベトナムで実施されるほか、バンコクで同手法のワークショップが開催される等、プロジェクトの実施地域は、アジアの途上国にも拡げることになった。					